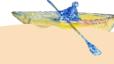


# A.L.L. 通<sup>オール</sup>言

アート・ラーニング・ラボ つうしん



できますか？

美術館でどんなことが

展覧会の鑑賞のほかに、



ワークショップ「リヒターの表現に挑戦！～抽象絵画をつくろう」のようす  
令和7年5月撮影

「美術館でできること」といえば…？  
例えば、作品を鑑賞したり、作品に関する講演や解説を聞いたりすることを思い浮かべる方も少なくないでしょう。当館では、それだけではなく、幅広い年齢の方々にたのしんでいただける場となることをめざして、多様なプログラムを定期的に開催しています。一体どんなことができるのか？今回は、A.L.L.スタッフがおススメする美術館のたのしみ方をご紹介します。

作品と対話、誰かと会話

「参加する」から「参画する」へ

# 展覧会の鑑賞のほかに、 美術館でどんなことが できますか？

当館は「毎日アートを楽しめる美術館」をめざして、大小様々なイベントに力を入れています。こうしたイベントを目的にご来館いただくのも、もちろん大歓迎です！そんな美術館でのイベントが、他の施設とちがうところは、アートにを身近に感じ親しむことを目的としているところ。この号では、美術館でできるオススメの過ごし方やワークショップなどをご提案します！

展覧会以外で  
来ても  
たのしめるの？

美術館って、  
いろいろ  
できるの？

子どもと  
一緒にできること、  
あるかな？



これがおススメ！  
鳥取県立  
美術館の  
過ごし方・  
楽しみ方

## いつでもみられるコレクションギャラリー

オススメ  
**1**

コレクション展を、誰かとおしゃべり  
しながらゆったり味わってみる



小さな声なら、おしゃべり  
しながらの作品鑑賞も◎

美術館に展示された作品の前に立ち止まる時間は、平均8秒という調査があります。作品の前に立ち、キャプションを読み、もう一度ちらっと絵を見て次の作品へ。せっかく本物と出合えたのに、それではちょっともったいない！時には、キャプションを最初の手掛かりにせず、まずは作品をじっくりと見る、そして気づいたことや考えたことを誰かと共有する、そんな楽しみ方もオススメです。おしゃべりすることで、自分だけでは気づかなかつた表現に気づいたり、同じものを見ていても、見る人によって見え方全く違うことに驚いたり！コレクション展で、そんな鑑賞を楽しんでみてはいかがでしょうか。

### コレクション展は、高校生以下は無料

展示期間中に1回は行う展示室でのギャラリートークや関連ワークショップに友達や親子と一緒に参加してみるのも◎。また、水曜日午前の「いっしょにみてみて水曜日」は、小さなお子様連れの方にオススメです。この企画に合わせ、鑑賞ガイドも設置しています。



水曜日の午前中に、コレクション展に入るともらえる鑑賞ガイド

## “一步踏み込んだ”美術館への関わりを！

オススメ  
**2**

「カフェ A.L.L. で井戸端会議」に  
参加してみる

「カフェ A.L.L. で井戸端会議」とは、2～3カ月に一度、参加者とその日のテーマを中心に“じっくりと話し、しっかりと聞く”オープンな会議です。美術館の活動や普及事業の可能性について一緒に考えることで、美術館の活動に「参画する」機会となります。これまでの井戸端会議では、和気藹々とした雰囲気の中、様々な視点からの意見やユーモアのあるアイデアが飛び交い、大変有意義な時間となりました。

4月に実施した井戸端会議  
のようす。お茶を飲みながら  
気ままにおしゃべり♪



### 多様な“楽しみ方”を 実現できる場所へ

アートの拠点として、多彩な展覧会やワークショップ等の企画し「発信すること」は、美術館の重要な機能の一つです。そして多様な利用者の声を「受信する」アンテナを持ち、その企画に活かすことが、眞の意味でひらかれた美術館になるために必要なことだと考えています。

### これも！ 展示室以外は全て無料！

- ・3階の展望テラスや2階のギャラリースペース、屋外彫刻作品等をじっくり巡るのもオススメです！
- ・天気の良い日は、テラスやえんがわでのんびり過ごすのも◎

上記のオススメの他に、展覧会関連のワークショップ（表紙や右下画像）や気軽に参加できる創作活動なども多数開催しています。イベントの詳細については、2カ月ごとに発行する「イベントガイド」や当館HP・SNS等をご覧ください。

### このいちまい

WS「リヒターの表現に挑戦！～抽象絵画をつくろう」(2025.5.10)



企画展「アート・オブ・ザ・リアル」で展示中のゲルハルト・リヒターのアブストラクト・ペインティングの表現方法に触れながら、抽象絵画をつくるワークショップを開催。展示室で本物の作品を見ながら学芸員の解説を聞いた後、作品づくりを行いました。画像は、4歳の子がつくった作品です。この出来栄え、いかがでしょうか？

### もういちまい

ティーモアさん\*、日々大活躍！

「MUSEUM START BUS」では、ティーモアさんが小学生の充実した鑑賞活動や美術館体験を日々支えています。また、ひろまでの活動の来館者対応や広報物の発送作業などでも、ティーモアさんの活躍が、美術館のあちこちで見られます。みなさまのお力添え、ありがとうございます！



いつも  
お世話にな  
っています！

とっておきの一冊を美術館にご寄贈いただけませんか？——「絵本寄贈プロジェクト」

自分のイチ推しの絵本を、美術館を訪れる子どもたちだけでなく、大人の方々にも紹介するプロジェクトを進めています。ご寄贈いただいた絵本は、キッズスペースを彩り、本を手に取っていただく方の新たな記憶として受け継がれていくかもしれません。ご参加頂ける方は、当館HPまたはチラシで詳細をご覧ください。

